

／マンガの聖地としまの皆さん／

これも学習マンガだ！ 大人も学べるマンガ入門

第12回

「これも学習マンガだ！」を主催する一般社団法人マンガナイトの連載です。

ジャンル：生命と世界

『銀河の死なない子供たちへ』

著者：施川 ユウキ

出版社：KADOKAWA



企画監修：山内康裕

(マンガナイト代表・「これも学習マンガだ！」事務局長)

構成：松尾奈々絵(マンガナイト理事)



不老不死をテーマとした物語は古今東西、世界各地に存在しますが、『銀河の死なない子供たちへ』もその一つ。生きること、死ぬことについて深く考えさせられるマンガ作品です。作者の施川ユウキさんは手塚治虫文化賞の短編賞を2014年に受賞していて、本作は初めて挑んだ本格ストーリーマンガになります。

は、不老不死の存在として、永遠の命による終わらない日々を過ごしています。三人以外には誰も人間がいなくなった地球で、生きているのは野生の動物たちだけ。πは廃墟や動物、自然だけが残された地球で楽しんで日に日々を過ごしていますが、マツキは母に禁止されているペットを密かに飼ったり、シエイクスピアの『ロミオとジュリエット』を擦り切るまで何千回も読み返したりする中で、生きている人間に出会うことを望みます。そして「死ぬこと」

「死なないこと」について直接聞いてみたいといえます。やがて二人は生きている人間を探しはじめますが、生殖行為をして死んでいく野生の動物たちをみることで、自分達がそこから疎外された存在であるという孤独を感じるようになります。

途中、地球の外から闯入者がやってきました。妊婦が生まれる寸前の我が子をなんとか生かそうと、地球にやってきたのです。妊婦は出産後にすぐに亡くなってしまいますが、πとマツキの手によって無事取り上げられた胎児は「ミミ」の名付けられ、二人が育てることになります。

日に日に生物として成長していくミラと、変わらない姉妹。生死に対して、登場人物たちが、それぞれどのような選択をするのか。なぜそうしたのかをじっくりと考えたくなる作品です。物語の冒頭でマツキが読んでいる『火の鳥 未来編』と併せて読めば、さらに楽しめるかもしれません。

これも学習マンガだ！ Manga Edutainment

世界発見プロジェクト

Supported by 日本 THE NIPPON 映画 FOUNDATION

「これも学習マンガだ！」は、新しい世界を発見できるマンガや学びにつながるマンガを選出・発表し、国内外の読者に作品を届ける事業です。マンガの持つ「楽しさ」「分かりやすさ」「共感力」に着目し、社会をより良いものにしていきます。

マンガナイト
<http://gakushumanga.jp/>

